議案第八十二号

港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

令和六年十二月二十三日

港区教育委員会

令和6年12月23日
教育委員会議案資料 No. 3

港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則新旧対照表

改正案

現行

(前略)

第八条 条例第十二条第一項の規定による届出は、港区人事庶務システム(職員の勤務の状況等の管理に関する事務を電子計算組織によって処理するシステムをいう。以下同じ。)に所要事項の入力(これにより難しい場合は、扶養親族(異動)届(第二号様式)の提出)により行わなければならない。扶養手当を受けている職員の扶養親族等に異動があつた場合についても、同様とする。

(中略)

第十二条 教育委員会は、条例第十九条に規定する事実を記録するため、給与減額整理簿(第四号様式)。ただし、港区人事庶務システムによって処理した場合には、第五号様式)を作成し、必要事項を記入し、保管しなければならない。

(中略)

(前略)

第八条 条例第十二条第一項の規定による届出は、扶養親族(異動)届(第二号様式)により行わなければならない。扶養手当を受けている職員の扶養親族等に異動があつた場合についても、同様とする。

(中略)

第十二条 教育委員会は、条例第十九条に規定する事実を記録するため、給与減額整理簿(第四号様式)。ただし、電子計算組織によって処理した場合には、第五号様式)を作成し、必要事項を記入し、保管しなければならない。

(中略)

(超過勤務手当等の支給)

第十九条 (略)

2・3 (略)

4 第一項に規定する手当の支給は、港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則(平成十二年港区教育委員会規則第七号)第七条第一項に規定する第三号様式を用いて行わなければならない。ただし、同様式による起案又は決裁については、港区人事庶務システムによって電磁的に表示し、記録する方法により行うことができる。

(後略)

付則

この規則は、令和七年一月十四日から施行する。

(超過勤務手当等の支給)

第十九条 (略)

2・3 (略)

4 第一項に規定する手当の支給は、港区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則(平成十二年港区教育委員会規則第七号)第七条第一項に規定する第三号様式を用いて行わなければならない。ただし、同様式による起案又は決裁については、電子計算組織によって電磁的に表示し、記録する方法により行うことができる。

(後略)

港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

審議内容

港区人事庶務システムの更新に伴い、幼稚園教育職員の給与に関連する手当等の届出を紙面の提出による申請方式から、港区人事庶務システムへの所要事項の入力による電子申請方式に変更するため、規則を一部改正します。

※「港区人事庶務システム」とは職員の勤務の状況等の管理に関する事務を電子計算組織により処理するシステムを言います。

1 経緯

港区人事庶務システムの更新により、各種手当について電子的な届出が可能となります。本案は扶養手当の届出について、扶養親族（異動）届を紙面で提出する方法から、港区人事庶務システムへの所要事項の入力による電子的な届出の方法に変更するため、規則の一部を改正するものです。

2 主な改正内容

第8条中の扶養手当の支給に関連する届出の文言について、港区人事庶務システムに所要事項を入力する届出によるものとする文言に改めます。

また、第12条及び第19条第4項ただし書中「電子計算組織」を「港区人事庶務システム」に改めます。

3 施行期日

令和7年1月14日

港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則（案）

港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則（平成十二年港区教育委員会規則第八号）の一部を次のように改正する。

第八条中「扶養親族（異動）届（第二号様式）により行わなければ」を「港区人事庶務システム（職員の勤務の状況等の管理に関する事務を電子計算組織によって処理するシステムをいう。以下同じ。）に所要事項の入力（これにより難しい場合は、扶養親族（異動）届（第二号様式）の提出）により行わなければ」に改める。

第十二条及び第十九条第四項ただし書中「電子計算組織」を「港区人事庶務システム」に改める。

付 則

この規則は、令和七年一月十四日から施行する。